

大募集!!

● 広報紙への感想や批評、市への質問など何でもお寄せください。
 ※ 匿名希望の場合もお便りには名前・住所・電話番号を必ず明記してください。
 〒061-3292 石狩市役所 広報いしかり 係
 ☎72-3153 ☎74-5581 ✉PR@city.ishikari.hokkaido.jp



「求職者の方の背中を押してあげるのが私たちの役目」という就業アドバイザーの安立さん(右)と新妻さん。「安定した就職活動ができるようサポートします!」

※ 石狩市就業アドバイザーによる相談窓口は
 月・水・金曜の週3日です

石狩市民の就職活動をサポートします

Q 市役所1階ロビーの「ハローワーク相談コーナー」が4月から無くなりましたが、今後はどこで就職相談を受けられますか？

A 「ハローワーク相談コーナー」の廃止を機に、石狩市では石狩商工会議所と協働で雇用サポートを行う「いしかり雇用サポートセンター」を今年4月より開設しました。同センターでは法律上、「ハローワーク相談コーナー」のような求人情報の取り次ぎや求人企業の紹介といった業務はできませんが、ハローワークの求人情報の閲覧やパソコンを使った求

教えて! 市役所

市民の皆さんから寄せられた声をもとに、市役所からご提案するコーナーです。よりよいまちづくりを目指し、今後も市民の皆さんからの市政に対する要望や提案をお待ちしています。

人情報検索ができるスペースを無料開放しており、誰でも自由に利用することができます。

● 就職活動のプロが相談に乗ってくれます

これまでの相談コーナーと同センターの最も異なる点は、月・水・金の週3回、2人の石狩市就業アドバイザーを交代で配置している点にあります。

アドバイザーは履歴書・職務経歴書の書き方、面接の受け方など、就職活動に向けた技術的なアドバイスをします。そんな同センターの要でもあるアドバイザーの人選は、技能を重視し、幅広い年齢層の相談に対応できる、経験豊かな退職者の方を条件に行いました。

現在、その任に着いているのが、安立秀彦さんと新妻浩さんです。安立さんは都市銀行で支店長を

務め、その後も道内の大手ホテル経営会社で人事を担当された方。一方の新妻さんは北海学園大学の元就職部課長で45年間にわたり学生の就職指導などを担当してきた、いわば進路指導のプロです。

● すでに多くの方が活用しています

アドバイザーによる相談窓口には、開設から1カ月で早くも30人の方が訪問。そのうち半数近くが複数回利用しています。

相談者で多いのは再就職の方。年齢層は20代から60代まで幅広く、出産を終え、仕事に復帰しようと考えている女性の相談も多いです。現時点で、就職が決まった方が2人、複数の人が面接まで進むなど着々と成果を上げてきています。ほかの就業施設での就業率を参考として、今後の



目標は相談者の少なくとも30%が就職できること。さらに利用者が増えれば相談窓口の日数の増加やセミナーの開催も考えています。

就職活動の際、なかなか相談できる相手がいない人も多いと思います。まずは気軽に足を運んでみてください。

● いしかり

雇用サポートセンター

場所 石狩市花川北6・1・5
 石狩商工会館1階

時間 毎週月～金曜10時～16時
 (祝日・年末年始を除く)

問合 商工労働観光課
 ☎72・3166

石狩商工会議所
 ☎72・2111 (内線33)

👁️ 口コミで知らせよう
石狩の
 たか 観 光 ①



今から140年以上も前につくられた「濃昼山道」が2005年9月29日に再び開通しました。木々に囲まれた「緑のトンネル」が随所にあり、自然を身近に感じることができます。

私がこの「濃昼山道」の存在を知ったのは浜益中学校に校長として赴任してきた1997年のことです。ある日、濃昼峠に登った際に厚田方面の斜面に横一線に伸びる山道を発見。その山道こそ「濃昼山道」

皆さんは「濃昼山道」をご存じですか? 「濃昼山道」とは、1857年(安政4年)に幕府の命を受けた厚田場所請負人・濱屋与三右衛門が自費で完成させた、厚田区安瀬から濃昼までを結ぶ長さ11kmにおよぶ山道です。完成後は庄内藩による北方警備の要路、さらには地域住民の生活道路として100年以上にわたり利用されてきました。しかし、1971年に国道231号が開通して以降は通行者が途絶え、「忘れられた道」となっていたのです。

「濃昼山道」は起伏が少なく、とても歩きやすい道です。山道脇にはエゾタンポポなどの貴重な草花も

で、40年も人が歩いていないにもかかわらず未だ姿を残しているのに感動しました。そして、もしここで整備を行えば、あと40年は残るだろう、と歴史的意義のある山道の保存を決意。2000年に地域の人たちが濃昼山道保存会を結成しました。保存会では山道のある国有林を管理する石狩森林管理署などの許可を得て、根曲がり竹刈りを中心とした整備を6年間にわたり実施。倒木で道がふさがれていたたり、深い竹やぶで覆われていたり荒れ放題だった山道の整備を続け、2005年秋にようやく利用できるまでにこぎ着けました。

国道231号沿いに「濃昼山道入口」の看板があり、その反対側に写真の標柱があります。ここから入って滝の沢方面へ向かって歩くのがおすすめ。商工労働観光課窓口には絶景ポイントを記したパンフレットもあります。



ながらゆつくり歩ける散策路となるよう、最後の仕上げを行っていくつもりです。石狩市民の皆さんには、ぜひ一度歩いてみてもらいたいですね。"みち"という字はその昔、漢字で「美しい地」と書いたといわれています。学問や剣、柔の道も繰り返してやることで磨かれていく。濃昼山道もたくさんの人に歩いてもらい、確かな"美地"にしてほしいと願っています。

ごき びる
濃昼山道
 の魅力

今回のナビゲーター



厚田地区に残る歴史ある山道を皆さんも歩いてみてください

濃昼山道保存会
 田中秀隆会長
 1943年、札幌市生まれ。北海道教育大学卒業後、教員となる。1997年に浜益中学校へ校長として赴任。2003年に退職。

■ 問合せ先 田中会長
 ☎090-6216-7103



濃昼山道を親子で安心して歩けるようにするため、保存会による整備が今も続けられています。



山道には珍しいエゾタンポポが自生。奇妙な形の木など、自然の美しい造形も多数見られます。

適です。また、標高357mの峠からは積丹半島や恵庭岳、樽前山などを望む素晴らしい景色が広がっています。これまでは開通を目標に活動してきた保存会ですが、今後はぬかるむ場所に石を埋めて整えたり、道順を示す標識を立てたり、最終的には親子で景色を楽しみながらゆつくり歩ける散策路となるよう、最後の仕上げを行っていくつもりです。石狩市民の皆さんには、ぜひ一度歩いてみてもらいたいですね。"みち"という字はその昔、漢字で「美しい地」と書いたといわれています。学問や剣、柔の道も繰り返してやることで磨かれていく。濃昼山道もたくさんの人に歩いてもらい、確かな"美地"にしてほしいと願っています。